

# 学校地域WIN-WINプロジェクト プログラムシート

会社名	Japan Education Lab		
プログラム名	探してみよう！半径5mの社会課題		
対象生徒	中学生～高校生		
プログラムの所要時間 実施場面	50分×(5)コマ以上・・・要相談 授業・学年行事		
プログラムのねらい			
今日の世界において、社会課題は様々なところに潜在している。それこそ、飢餓や環境問題、動物保護などキリがないほどに。目の前にある社会課題見つけて解決までのプロセスを考えるのは、社会人で必要と言われているPDCAの考え方とかなり似ている。社会課題の発見～解決までのプロセスを一から学び、今後の学校生活や将来の糧にしていきたい。			
プログラムの内容			
<p>1コマ目&lt;社会課題の発見&gt; 世界の社会課題から自分たちの身の回りにある社会課題について考える授業。 実は自分たちの身の回りにも社会課題は多く点在していることを知り、どんなことに興味があるか考えてもらう。</p> <p>2コマ目&lt;社会課題の分析&gt; 目の前にある課題がどのようにして発生しているのかを考えてもらう授業。 社会課題を分析するには論理的思考能力が必要になってくる。具体と抽象のワークを通して周りのリソースを活用して分析をする。</p> <p>3コマ目&lt;理想の設定&gt; 目の前にある課題について、どのような状態が理想になりえるのかを考えてもらう授業。 ただ、自分だけではなくその課題をとりまく人たち全員がハッピーになれるようなモノを考え、影響まで策定する。</p> <p>4コマ目&lt;ハードル原因の分析&gt; 理想状態にたどり着くまでのハードルとそのハードルを生み出している原因について分析する授業。 現状の課題が理想にいかないということはハードルが存在し、そのハードルを生み出している原因がある。その原因をつきとめる。</p> <p>5コマ目&lt;解決策の提案&gt; ハードルを生み出している原因に対して解決策を考える授業。 どういう解決策を考えれば、原因を解消し現状が今よりも理想に近づけるのかを考える。</p> <p>その後は発表やプレゼン指導など、充実したアウトプットまで授業で展開させていただきます。</p>			
学校側へご提供いただけるもの			
基本的には直接お伺いさせていただき授業の説明をさせていただきます。			
学校側に整えてもらいたい設備・環境			
授業の形態（クラス展開、学年全体）によりますが、プロジェクターのような精密機械からポスイトのような小物まで用意してもらうこともあります。			
学校側への依頼事項			
グループワーク等への理解と協力、事前の生徒情報の共有など また、授業回数にも依りますが、授業の質を高めるためにも事前授業をさせていただくことがあります。			
企業のWIN			
学校との協働活動の実績			
学校のWIN			
生徒一人ひとりに合わせたプログラムになっているため、全ての生徒が自分の中に持ち帰ることが出来る			
学校負担費用	要相談		
連絡先	部署名	代表	
	担当者	古谷 龍二	WEB <a href="https://japan-education-lab.com">https://japan-education-lab.com</a>
	電話	080-1138-5571	e-mail <a href="mailto:info@japan-education-lab.com">info@japan-education-lab.com</a>